

# 平成18年度定時総会報告

KGリアルターズクラブ最大かつ最重要イベントである平成18年度定時総会が6月1日（木）に北新地にあるホテルモントレー・グラスミアハウスにて盛大に開催されました。参加者数は過去最大で会員124名とご来賓7名の計131名と、なんとあの関西不動産三田会の今年度総会参加者の2倍以上の規模でした。



ご来賓には母校関西学院大学から浅野副学長・木本学長補佐・岡田主任・宮本主事、また同窓会からは大段副会長・岩田専務理事・小野事務局長と総勢7名ものご出席をいただきました。

第一部の総会は赤川幹事の司会で齋藤会長の挨拶（後記参照）に始まり、平成17年度会計報告・事業報告・平成18年度予算・事業計画・今後2年間の幹事選出と続き、各議案を満場一致で承認いただきました。その後、伊藤浩司前ビジネスネットワークGリーダーから、平成17年度会員間成約39件と会員から会へ645,000円の寄附の報告があり、齋藤会長から浅野副学長へ15万円の寄附金目録の授受を行いました。



第二部の懇親会は石橋幹事・内田幹事の若手コンビの司会で、ぐっと和やかムードでスタート。ご来賓を代表して浅野副学長のご挨拶の後、岡田主任の食事の前のお祈りでは、いつもは夜毎このあたりを闊歩している諸先輩方もいつになく神妙な面持ちでお祈りをされていたのが印象的でした。大段副会長の「公認 144 団体中 5 指に入る素晴らしい会です」との言葉をいただいた後、声高らかに乾杯となりました。



懇親会では、各自名刺交換も交え活発に歓談に花を咲かせ、途中の幹事紹介では、各グループリーダーによるメンバー紹介を行いました。新入会員紹介コーナーでは、19 名の新入会員が壇上に登り、昭和 30 年代卒業の会員から現役学生の会員まで各自特色のある自己アピールをしていただきました。最後は恒例の応援歌斉唱に続き、松吉副会長に少々遠慮しながらの出口前幹事によるエールを挟み校歌斉唱を最後に楽しい宴も御開きとなりました。



昭和57年社会学部卒 尾久土 治(堂島実業株式会社)

## 平成18年度KGリアルターズクラブ 定時総会のご挨拶

本日は、皆様方におかれましては大変お忙しい中、平成18年度KGリアルターズクラブ定時総会に、ご出席いただきましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。本日の出席者は会員130名、ご来賓として関西学院から浅野副学長、木本学長補佐岡田校友課主任、宮本校友課主事、同窓会から大段副会長、岩田専務理事、小野事務局次長の皆様のご出席をいただいております。お陰様で当クラブの会員数は順調に増加しております。本日現在で250名となっております。さて、日本経済も昨年から今年にかけて好調に推移しております。OECDの世界経済見通しによりますと、2006年の日本の実質経済成長率を2.8%と予測しております。いよいよデフレは脱却し、ゼロ金利政策も解除することも視野に入ってきたようであります。しかしながら一方人口減少の時代に突入しいよいよ来年2007年より団塊の世代(1947~49の第1次ベビーブームに生まれた人)が大量定年を迎え、2007年から3年間で大量リタイヤーにより労働力人口は2005年からいっきよに120万人以上も減少するといわれている。いわゆる「2007年問題」が始まります。又、この2007年問題のもうひとつが大学の「全入」時代のはじまりといわれています。これは文部科学相の諮問機関であります中央教育審議会が2007年度に志願者全員が4年制大学、短大に入学出来る「全入」時代が訪れるという試算をはじき出したもので少子化で国民の大学志願率が頭打ちになる一方、大学の数は増加傾向にあることからえり好みしなければ必ずどこかの大学に入れるということでもあります。このことは選ぶ側から選ばれる側に向かった大学の存立基盤が問われる重大な問題であり、一方必然的に学力不足の学生の増加に拍車がかかるというもうひとつの問題が指摘されています。このような時代であるからこそ、大学と卒業生、大学と産業界の連携が重要になってくると思われれます。さて、昨年は10月に当クラブ最大の行事でありますK.K.D(関学、慶応、同志社)との合同例会をホテルリッツカールトンで開催いたしました。初めての試みとして木本学長補佐を始め皆様方のご協力を得て「劇場空間宝塚」の都市再生と言うテーマで大学、学生、宝塚市、阪急電鉄、(いわゆる産官学)との取組の模様をみなさまの前で見いただきました。最近の産学連携の流れの中で大変おもしろい企画であったと思っています。それともうひとつ特筆すべきは会員間の(慶応、同志社を含め)の情報交換も活発になっておりまして、後ほど詳しく報告があると思いますが成約による寄付金件数約40件、当クラブに対する寄付金総額約65万円となっております。会員間の活発な情報交換の成果がか

なり上がってきた証で大変結構なことと思っています。尚、本日この寄付金のうちから15万円を関西学院に対して「関西学院教育研究等振興 資金」として寄付いたしたいと思っております。さて今年度の重点施策であります。①研修会 勉強会等を通じて会員相互の資質の向上を計る。②情報交換会等を通じ会員相互の連携を密にして会員間の成約件数を増やす。③関西学院及び同窓会との連絡を密にして学院及び同窓会の行なう事業に積極的に参加することです。今年はずいぶん寄付講座を開設し大学及び学生になんらかの形で寄与したいと思っておりますし、併せて学院同窓会への寄付金を増やすように努力したいと思っております。④機会が作れば卒業生、一般の社会人に対し社会貢献活動として講演会 相談会の開催も検討したいと思っております。最後に我々KGリアルターズクラブの会員は学院のスクールモットーでありますマスタリーフォーサービスの精神をよく理解して、お互いに専門職業人としての資質を向上させるよう努力したいと思います。聖書の中に人にしてもらいたいと思うことを人にしなさい。人に良いことをして何も当てにしないで下さい。そうすればたくさんの報いがありますと書いてあります。まさに奉仕(サービス)とはそのようなものだと思います。今年度も我々はマスタリーフォーサービスの精神のもと大いに世の中に役立つよう努力したいと思います。終わりに当たりまして会員の皆様、ご来賓の皆様方のますますのいやすさを祈念して、挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

以上

